

七夕ライアーコンサート 2013 感想集 2013 年 6 月 29 日（土）アルスホール

七夕コンサートに伺わせていただきありがとうございました。子ども二人と母と一緒に、少し遅れて会場に入ってしまうすみませんでした。

Keiko、Hisa、おさちゃんに親切にしてもらい、Kyu はすっかり浮かれてしまったようで、クーゲルや大事なお人形を離したくないという思いだったそうです。。乱暴にされてしまったみなさん、ごめんなさい。

次男も合わせて落ち着くまでにはもうしばらくかかりそうな我が家ですが、つかの間のゆったりと静かな、素敵な空間でした。ありがとうございました。（Junko）

昨日は、お世話様でした。

少ししかお手伝いできませんでしたが、お客様同様、たっぷりと演奏、楽しませて頂きました。

二部の前半は、きらきらと透明感を感じる静かな星々の中にいるような感じで心地よく、後半は色々な楽器と共に、明るく楽しく、可愛らしい雰囲気も、そして最後は TANABATA の祈りを感じさせられました。

素敵なコンサート、どうもありがとうございました。（Sumi）

久しぶりにメンバーの皆さまとお会いし、おひとりおひとりからの温かなお言葉を沢山戴き本当に本当に嬉しかったです。皆さまに感謝です♪

またコンサートでは、ライアーの優しい響きに、色々なものが浄化され、私の中の星々の輝きを取り戻せたような気がいたしました。ありがとうございました。

中でも、ジョン・ビリング氏の Tanabata With for Tohoku は本当に素晴らしかったです♪

そして、アンコールの にじ・そら・ほし・せかい も。歌声の美しさとライアーの響きが絶妙でした♥

元気になって、また皆さまとご一緒出来る日を、楽しみに♪

焦らずゆっくり、一步一步前へ進めたら、、と思っています。素敵なお時間をありがとうございました♥（Kayo）

七夕コンサートお疲れ様でした。

今回は 2 部のみ聞かせていただきました。一番響きがきれいだったのはアンコール「にじ・そら・ほし・せかい」、歌声もとっても透明に響き、ライアーのよさがよく伝わっていたように思います。

多分前半の星の呼び声と星座の曲が皆さんにとってはとても緊張された曲だったのではないかと思います、息があっていて、最初聞いただけですう～っと眠ってしまいました（笑）。

逆にちょっと手に汗したのが後半の曲（カロラン）でした。私の席が少し悪かったのかと思いますが、会場横長を使っただけのバランスはかなり難しいと感じました。どうしてもずれやすく、楽器によりまた個性により音量もさまざまですが、それがあまり混ざることなくストレートに客席まで届きます。つくばでカロランを緊張して聞いたのは初めてでした。多分自分が楽譜も知っていたせいもあると思います。おそらくは中央付近はとても響きもよかったのではないかと思います。

Fuji のリコーダーの響きがとても美しかったし、裕美さんのユーモアを交えた司会がとても良かったです。回を重ねるごとに練られていきますね。

TANABATA は定番化してもいいのかな、と思いました。被災は終わっていないし、観客として聞くとこの曲のもつ深さに改めて気づきました。自分の周りの避難されている方などの顔を思い浮かべながら聞きました。次回はずいぶん演奏したいです。

ちょっと辛口の感想になってしまいました。すみません。ともあれお疲れ様でした。（はづき）

皆さま お疲れ様でした。

いつも様々な準備に時間をかけて作り上げて頂き、ありがとうございます。

素敵な世界を作るお人形テーブルと 皆さんをにこやかに迎えてくださる受け。

演奏だけに専念できることは とても贅沢なこと。感謝です〜♡

それにしても 本番はあっという間に終わってしまいますね～♪
今年はⅡ部の全体曲だけで～ と始めたつもりでしたが、あれあれ？いつの間にか グロッケン担当がライアーを弾くことになり♪ Ⅰ部に出ることになり♪ Ⅱ部も曲が増え・・・♪♪♪
とっても楽しませていただき、* ありがとう * ございました(＾○＾) まさか キツネさんまで担当するとは思わなかったです^^;

ミニ・シンバルが美しい響きで会場を包んでⅡ部のはじまり。
『星の呼び声 Ⅰ』が順調に響いている中で（おさちゃん本番に強し！！）、久しぶりにドキドキ ドキドキ。
『Ⅱ』は Yasu と一緒だったので良かったのですが、『Ⅲ』でひとりになった途端 思い通りに歌えない・・・
q(>_<)q
『星座の曲』は いままでで一番美しい響きになっているわ～♪ でも 中央でメロディー下の音を弾いているのはどんなもんかしら・・・ お客様にはどう聞こえているかしら～と少し弱気になるのを、両側からのクーゲルのキラキラ音に救われていました。

そして アイリッシュの曲たち。 左右の音がいま一つ かみ合わないのは何故？と思いながらの演奏から、
『The Chanters Song』に。 時間的にも私の限界がきてしまい、 あ、(@_@;)今 どこ・・・?? メロディーに戻ったところで 2・3小節落ちました(>_<) スミマセン。
今 回初めて感じたことですが、演奏がかみ合わなくなった時、ふたり休んでいる中央の空間は 広すぎるように感じました。自分が弾かない時、弾いていなくても、気を抜いてはいけない・・・。一緒に呼吸を合わせて自分の弾くところを待っているような～そんな姿勢が必要なのだと思います。

最後の 『Tanabata Wish for Tohoku』 は、今までで最高の演奏になったのではないのでしょうか。
本当に気持ちのこもった祈りの歌 会場の皆さまとともに祈りの響きに包まれたように思います。
大津さんと 同じ桜のライアーで同じパートを弾いていたのですが、音が聴こえない。。。共鳴度が良く、しかも自分と同時に音が出ているから♪でした。お互いに たただ呼吸を合わせ、弾くことに集中している時です。
ちょっとずれた時に あっ（^◇^；）と思います。
Tanabata では 全体がそのような一つの祈り・呼吸の中で弾いていたように思います。

合わせる時、『お互いの音をよく聴いて～』と言いますね。 でも 聴いて合わせようとする、微妙にずれるのではないのでしょうか。 聴くのは、音ではなく 呼吸。 自分をその曲・響きの中に置いて呼吸を同じくし、自分のパートをしっかり弾く。それができた Tanabata の演奏をしばらく忘れないようにしたいです。これから パートを替えて弾き続けて行きたいです～♪ 皆さま どうぞお付き合いくださいませ。

* ありがとう * ございました。 (Nao)

アンケートを書かない友人たちから、皆さんに伝えて～ *****
星の曲でキラキラした音はなあに？ 星が降ってくるようで、キラキラ キラキラとても綺麗だった。
よかったよ～。ライアーもいつも良いけど、どうして皆あんなにきれいな声なの？！
歌声が透き通っていて、ハーモニーがとても綺麗。 アンコールの歌がみんなが一つにまとまっていて、とくに良かった～。
TANABATA for Tohoku は、祈っていたでしょ。 すぐく祈りが伝わってきて、一番良かった。
ありがとうございました。 また楽しみにしています。

第1部では、「たなばたのお話」も、Yasu には毎回大荷物で練習に来ていただくことになり大変でしたが、Yasu の語りに Marit のパネルシアターが去年とは違った楽しみ方が出来て良かったです。パネルの色塗りもみんなできて楽しかったです。

ライアー演奏も、3曲とも違う感じでありながらも、裕美さんの素敵な司会でつながりがあり、良かったです。

アルトの速さが最後の練習まで、安定していなかったの、ソプラノの方には本番で戸惑わせてしまったかもしれません。すみません。第1部は手遊び、お話、ライアー演奏で30分と、飽きることなく楽しめて、ちょうどいい感じで落ち着いてきたような気がします。来年は何にしようか楽しみです♪

第2部でも、「星の呼び声」を最後の最後まで、迷っていて、本番では何も考えずに降りてきたまま弾いたので、合わせてくれた渡辺さん、大変だったと思います。本当にありがとうございました。Naoとのミミリーを弾く時に、Naoの座席が予想以上に遠いと、感じました～。もう少し近くがよかったかも。

星座では、ディスカントライアーを張り替えたのもあり、また、やっと弦の位置(?)に慣れてきたのもあり、「星の呼び声」終わったし～と、気持ちよく弾いていて、魚座の2ページめの1小節目のタイミング間違えたのは私です。すみませんでした。

後半のグリーンアイランドでは、練習の時にそんなにずれたということはないので、緊張感が足りなかったのかもしれませんが。なんかずれているぞと感じつつ、なぜか修復できず走ってしまったのはたぶん私です。Tanabata Wish for Touhokuは細かく上がっていくところが、不安定なまま当日になってしまっただけで心配でした。でも、いざ弾き始めると渡辺さんと一緒だったので安心感があり、無事に終わってよかったです。

今回、背景のドレープもきれいで、第1部の星☆から第2部のバラに変わるだけで雰囲気も変わりよかったです。アジサイの生花も素敵でした。裕美さんの司会もリラックスさせてくれる感じでよかったです。

横並びで顔が見えなくて、音も聞こえづらかったのが、今回の難しい所でした。でも、Tanabata～の時には、聴こえたのだから、集中力の問題でしょうか？次回はほどよく緊張を保ちつつ、リラックスした音を出せるように(?)したいです。
(おさちゃん)

～～七夕コンサートを終えて～～

今回は日常生活でのさまざまな変化の中で、なかなかゆったりとした気持ちでライアーと向き合うことが難しい部分もありましたが、練習に通いながら何気ない皆さんとの会話、コンサート練習以外のクラスでの気付きや、コンサート当日、参加はされないけれど、テキパキと会場設営をしてくださる献身的な皆さんの姿等々から元気をいただき、皆さんに支えられて無事終えられたことに心から感謝しています。根本裕美さんにもお忙しい中、リハーサルも含めて竹園に寄っていただいて送迎して下さい、本当に有難うございます。裕美さんは前日可哀想な子猫ちゃんを中央分離帯で発見して車を止めて家に連れて帰り、遅くなった為、会場を飾ったあの美しい紫陽花を肝試し風に夜取りに行ったりと目の回る忙しさだったにも拘わらず、あの素敵な司会をしてくださったのです！

第一部では、パネルシアターの絵を動かす役も落ち着いたペースのYasuに助けをもらい、何とか本番ではパニックにならずに出来たこと、第二部では、久しぶりのミニシンバルの響きもののんに美しい見本を見せてもらったり、A S H GROVEではおさちゃんと二人の楓パートがあり、会場ではかなり離れていて心細かったのですが、振り向くとちゃんと優しくアイコンタクトをしてもらって、呼吸を合わせることが出来ました。皆さんからいただいた安心感は私にとってとても大切なお守りとなり、ただただ感謝です。

TANABATA WISH FOR TOHOKUでは原さんとイージーパートの入るタイミングの難しさに悩みながら、当日Keikoも加わって他の美しいパートの音色と共に奏でられたのは、とても幸せな時間となりました。この曲は幸運にも来日された作曲者のJOHN BILLINGさんからワークショップで直接教えていただいた曲でもあり、BILLINGさん自身も2011に録音されたCDからWSでは進化されて、更に深い美しい音色を出されていました。

そして七夕さまに『今後も東北の復興を願ってライアーの祈りを届けられる曲として皆さんと温めていかれますように♪』とお願いすることにしました。
(Marit)

七夕コンサートお疲れ様でした

今年の七夕コンサートは自分自身の体調の不安など抱えたまま参加することになり、皆さんには本当にご心配おかけしました。また、アルトや荷物を運んでくださったりとお気遣いいただきありがとうございました。

1部の練習も休むことが多くもっと回数合わせられれば良かったかしら。

今年のお客様は大人の方の反応が良く、またわりと大きなお子さんが多かったので手遊びのテンポが少し早くなってしまったことが反省点です。ちゃちゃつばなどもう一回くらい少しじっくり取り組むものがあっても良かったかしらとも思いました。でんでらりゅうばはテレビ番組の日本語で遊ば！でも取り上げられていたので反応が良かったですね。渡辺さんの歌声も効果抜群でした！！

パネルシアターのYasu, Marit お疲れ様でした。子ども達がじっくりとパネルを見ている様子が印象的でした。

七夕コンサート2部は星座の3曲、当日はわりとゆっくりしたテンポで演奏できたのが良かったと思います。

グリーンアイランドは当初の予定ではさらっと流す曲でしたがこれがまた難題でしたね。弾き方、アレンジ本当にいろいろと考えさせられました。当日は私は芝山さんのベースに合わせて演奏していましたが真ん中のかたはきっと演奏しにくかったのでしょうね。

アルスは音の聞こえ方にも独特なものがあるので自分の演奏に不安を感じることもあります。

ただtanabataは今までの演奏の中で最高の演奏だったのではないのでしょうか。お客様さまとも同じ空間を共有している感覚が強く感じられそれが演奏にも反映していたように思います。皆さんあの震災を体験した仲間だからでしょうか。久々に静かな興奮状態？を感じることができました。

最後になりましたがいつもお手伝いくださるYoko, Yaman, Sumi、わざわざ演奏を聞きに来てくださったKayoさん、はづき、きれいなお花を準備してくださった裕美さん、皆さん本当にありがとうございました。

(Fuji)

今回は星座の曲2曲を含めて4曲だけの参加となりましたが、なにしろあまり練習に参加できないので、残念ではあったのですが、やはりこれがいっぱいだったと思います。

年々、つくばの皆様のレベルが高くなって、ほとんど練習に参加できない身としては、ついていけないのが実情で、一緒に参加させて頂けただけで、良い勉強になっています。本当にいつも温かく仲間に加えて頂き、有難うございます。そしてこれからも忘れないで下さいね～。

さて、コンサートの感想ですが、1部は予想を上回る沢山のお客様に入って頂き、椅子が足りなくなってしまう、コンサートが始まっているにも関わらず、がちゃがちゃと椅子を追加する有様で、演奏されている皆様には大変ご迷惑をおかけしました。でも元気いっぱい子ども達は、かわいいお人形たちと一緒に、手遊びやシルクの感触をたっぷり楽しんでいたようです。Y家の長男も立派な腕白に育っていて楽しげでしたよ。月日の流れの速さを実感しました。(笑)

2部は、Yasuとおさちゃんの間に座らせて頂き、「星の呼び声」をステレオ状態で聞かせていただき、演奏されているNaoやYasuやおさちゃんや渡辺さんの苦労も知らず、ゆったりと気持ち良くなった中で、魚座と牡羊座を弾かせて頂きました。「星の呼び声」の効果で、緊張することもなく、今までの星座の曲を弾いた中では、一番リラックスした状態で弾けたように思います。

そのあと、「Sky Bort Song」まで、弾かずにお休みをさせて頂きましたが、演奏する方々の間に演奏しない私が位置していたことで距離感ができてしまい、ズレの一因になっていたのではないかと思います。「星の呼び声」を聴いていたときは、右から左から音が聴こえてきてとても良かったなんて喜んでいましたが、一応演奏している側にいるのだから、聴衆になってはいけませんよ！と音の妨げになっていたかもしれないことを全く知らずにいたことを反省しています。やはり自分の位置としては2列目が妥当ではなかったかと思います。

今回は、弦を張り替えたこともあり、響きが良くなかった低音の方もだいぶ響きが改善されたので、ヨエックスのライアー1台だけで参加しましたが、「Tanabata～」のイージーパートとアンコールの「にじ～」はとても良い響きで弾けました。お客様にも好評だったようで良かったです。

余談ですが、裕美さんが中央分離帯で保護したいろいろお騒がせの子猫は、M家の住人(住猫?)になりました。感想が遅れたのも、この子にちょっと手がかかっていたため？(って猫のせいにするな!)です。でも無事、トイレもちゃんとできるようになりました！みんなに幸せが訪れるように・・・「福」(あえて漢字です)と名付けました。フクちゃんです。Keiko共々、よろしく～です。有難うございました。

(Keiko)

今年の七夕コンサートもたくさんの方々の支えにより、気持ちよく終えることができたことに感謝しています。ありがとうございました。

一部は、皆さまと共に作り上げていく過程が心地よく、また「にじ・そら・ほし・せかい」の Nao の編曲にしました。

二部の始まり「星の呼び声」は、私の力量不足で、特に渡辺さんと Nao をハラハラさせたことでしょう。

でも本番、不思議と多少の緊張はあったものの不安はなく、いつもの呼吸でお願い弾くことができたように思います。

それから今回、一番心に残った「Tanabata Wish for Tohoku」。

初めて自宅でこの曲を弾いたとき、家の痕跡が残る砂地の上を折鶴が飛んでいく、そんな光景が鮮明に表れ、まるで現存する風景のようで、誰かの足元が見えます…私の！？

それは“祈り”という言葉、決して暗くはない、愛に満ちた幸せな“祈り”という言葉につながっていきます。

並木でメロディパートを初めて一人で弾いた時、拙いながらも最後まで弾けたのは、この曲が持つ力が弾かせてくれたと実感したのです。

(それから本番までの練習では緊張の方が勝ってしまい、はぁ～とため息の出ることが多くて…)

そして本番、弾き始めたとき、全身の毛が逆立ちました。鳥肌が立つとよく言われますが、肌は何ともないのです。静電気で髪の毛が立った時のような？？

あの感覚は一体なんだったのでしょうか。

他のパートを良く聴いてとか曲想を感じてとか、そういう事を超えて、ライアーは祈りの音色、ただライアーが呼吸するように、ただそれだけが心にあったような気がします。

これを書きながら、一音の響きに満たされていく幸せを感じています。

(Yasu)

今回十分な練習ができず自信のないまま当日を迎えることになりそうでしたが、直前の木曜日にお時間を作っていただいたおかげで、「できた!!」という気持ちで当日を迎えることができました。感謝です！

一部は昨年と同じ曲が多かったので、私としてはとてもやりやすかったです。昨年とは会場が違い、お客様も違い、役割も違うと随分雰囲気が変わると思いました。今年の会場は演奏者とお客さまの段差がなかったことと、シルクを担当したことでお客様との一体感が感じられ、前回と違う感覚を味わえました。いろいろな役割を経験することは大切ですね。楽しかったです。

2 部の本番のとき、自分の音が聞こえなかった気がして心配でしたが、隣の Nao に今日が一番よく音が出ていたと言っていたきほっとしました。ライアーは 2 曲にさせていただいたおかげで気が軽く、楽しくクーゲルで参加させていただきよかったです。

皆さまにご指導いただいたおかげで、楽しいコンサートでした。ありがとうございました♪

(Mifu)

♪七夕コンサート 2013☆お疲れ様でした♪

七夕コンサート 2013、お疲れ様でした。いつの間にか、もう 10 回目と回を重ねてきたのですね。今回初めて、もしかしたら参加できない事態になり兼ねない状況の中で迎えたコンサートでした。皆さんにはご心配をおかけしてしまいましたが、何とか備品も全て持っていくことができほっとしています。

1 部は、72 名、2 部は 50 名のお客様がご来場くださり、初めてコンサートにいらしたという方々も多い中、七夕の季節、心静かな時間を過ごして頂くことができました。東京や埼玉、日立など遠くからも聴きにきてくだ

さって本当に嬉しいです。メンバーの Junko、はづき、Kayo も、応援、そしてご寄付もありがとうございました。

第1部では、小さなお子さん連れの方々が沢山いらして下さり、ご家族で楽しんで下さっている様子が微笑ましかったです。

Fuji のわらべうた、親子のためのコンサートには欠かせないものとなり、すっかり馴染んできて、会場中が楽しそうでした。シルク布の演出も効果的でしたね。そして Yasu、Marit による『七夕のお話』のパネルシアター、子どもたちが、舞台に引き込まれて全身で聴いているのを感じました。音楽もお話とぴったりで、星空の織姫と彦星が目に見えるようでした。毎年繰り返される季節のお話は子どもたちだけでなく、大人にとっても大切な1年のリズムの流れの中、心の栄養となるものなのだと実感しています。パネルシアターの絵は Fuji のお嬢さんに描いて頂き、色塗りはメンバーの皆さんによるもので、ご協力ありがとうございました。

「おほしさま」のカノンは、七夕のお話の余韻に浸りながら、沢山のお星様がキラキラと光っているように聴こえ、ブラームスの子守歌は、ゆったりとしたテンポでこのまま眠りにつきたくなる位、癒されました。子守歌は七夕コンサートに毎回入れてもいいくらいライアーに良く合っていますね。

最後は「にじ・そら・ほし・せかい」というまた素敵な曲に、渡辺さんのご紹介で出会うことができました。ライアー響会主催の歌声の講座にもこれまで多くのメンバーの皆さんが積極的に参加され、年々歌声も澄んできて自然に響き合ってくるようになってきましたね。この曲は Nao に素敵に編曲して頂き、その他、グロッケンパートや楽譜作成等、お世話になりました。

第2部は、Marit、のんのん、momo、Fuji の神秘的なミニシンバルの即興演奏で、星々の世界へと誘われ、会場もすっかり別世界と化し静寂に包まれましたね。小野純子さんの「星の呼び声」は精神性の高い光の曲でしたが、よく練習されて音が遠くまで響いて3曲が繋がって聞こえとても良かったです。おさちゃん、渡辺さん、Yasu、Nao、素敵な演奏をありがとうございました。

お陰様で星座の曲へと、自然に導かれ、まるでそれぞれの星雲の中に身をおいて漂うがごとく、気持ち良く演奏できました。

グリーンアイランドの曲は主に竹園クラスで取り組んでいただきましたが、会場、気候、それぞれの体調、参加メンバーによって、随分変化してしまうので、まとまるまでなかなか大変でしたね。テンポも揺れてしまうことが多くて、リコーダーも吹きにくかったことでしょう。特に Fuji には、何かとご心労をおかけしてしまい申し訳なかったです。最後までまわってきたと思っていたのに、当日は、ずれてしまった曲があり残念でしたね。当初の予定通り2列にしておけば良かったかしら？

「Tanabata Wish for Tohoku」は、お客様のお心にも届いたご様子で、嬉しかったですね☆

～ライアーは祈り～と言われます。これからも皆さんの健康と幸せ、そして平和を祈って、演奏し続けたいと思います。今回参加できなかった皆さんも、是非また一緒に、これからもレパートリーとして繰り返し演奏していきたいですね。

Hisa の美しく彩られたお人形テーブルは、入口から見ると正面に映えて、会場の雰囲気をもっと華やかに盛り立てて下さいました。お人形にご興味のある方々も多くいらっしゃいましたね。また秋のコンサートも、とても楽しみです。

今回も、裕美さんに司会原稿をお願いし、お客様も飽きることなく、時々緊張も適度にほどけて好評でした。前夜、暗闇に恐怖を感じつつ舞台用の紫陽花を積みに行ってお話を伺いました。本当にいつも遠くから沢山のご準備をありがとうございます。お陰様で譜面台に紫陽花の花束が飾られ、可愛らしく素敵な演出でした。司会だけでなく写真撮影、沢山の小物楽器まで大変お疲れ様でした。

momo には、毎回のようにチラシの水彩画や、響きの森パンフレット等、大変お世話になりました。舞台背景も素晴らしかったです。

今回は昨年よりも参加者が少なく、搬入搬出や会場セッティングも、それぞれのご負担が大きくなってしまったのでは、、、？と思われますが、Sumi、Yoko、Yaman がお手伝いに来てくださり、心強く、のんのん、Keko、には一部ではスタッフとしてお手伝い頂き、とても助かりました。

いつものように息の合ったチームワークで、無事コンサートを終えることができて本当に良かったです。

舞台を横に使用したことについて、1部のお客様の為には、ベビーカーも出入りしやすく、舞台もよく見えてとても良かったように思いますが、2部では、特に中央に空調が直接当たる場所で左右の音がお互いに聴こえづらかったそうです。またお客様の座る位置によってまるで聞こえ方が異なることも問題でした。またアルスホールという場合、2部はできれば、正面の舞台位置に戻して、演奏者も気持ち良い演奏ができるように何とか工夫できたら良いな～と思いますがいかがでしょうか？

来年もまた七夕コンサート、楽しみにしたいと思います♪

芝山恭子